

事業報告書（令和3年度）

事業名 公益財団法人岡山県環境保全事業団とタイアップした、
中高生向け環境学習映像資料の作成

団体名 岡山県立岡山大安寺中等教育学校 担当者名 今井 琢登

※活動の様子がわかる写真（データもお願いします）と説明を必ず添付してください。

1. 活動内容（日時、場所、参加対象者、人数、内容等）

・5月7日（金）16:00～17:30

本校にて、アスエコの方の講演会と、本プロジェクトの趣旨説明

①気候変動や地球温暖化など、環境に関するクイズ

②アスエコから依頼された、環境教育に関する動画教材作成の説明

・5月24日（月）16:00～18:00

本校にて、zoomによるアスエコ主催の研修会に参加

①太陽光発電の現状と可能性について

②再生可能エネルギー導入支援コンサルタントのお話

③太陽光パネルリサイクルの現状と課題について

・7月9日（金）

北長瀬ハッシュタグにて、アスエコ主催の研修会に参加

①西粟倉村の取り組みについて

②真庭市の取り組みについて

③食品廃棄物を原料とするバイオマス発電の紹介

・8月23日（月）8:30～16:30

真庭にて、市で取り組んでいるSDGsの取り組みを知るための実地研修

①バイオマス発電のための

③バイオマスを用いて

・11月14日（日）13:30～16:00

・アスエコにて、動画の作成スキル向上のための研修

2月中旬～3月下旬

・本校にて、環境教育のための動画教材の作成期間

(様式第8号)

2. ESD の視点を取り入れたところ、ESD の視点で見直したところ

講演会や研修会で得た知識を、動画を見た児童・生徒にわかりやすく伝えるため試行錯誤を重ねた。

環境教育を推進することで、児童・生徒が解決しなければならない地球規模の課題であると認識し、1人ひとりの行動が変わらるよう訴えかけるようにした。

3. 取組の成果（参加者にどのような意識や行動の教育上の成果があったか。感想など）

※事業内容が ESD にどう貢献したか等を記入してください。

動画作成のための材料として、真庭の方に実地研修に行き、現地の様子を撮影し取材することができました。真庭市が取り組んでいるバイオマスを利用した発電や、それに伴う地域の取り組みなどを知ることができました。

また、動画作成にあたって、アスエコ主催の研修などにも参加させていただくことがあり、動画作成に携わった生徒以外にも環境保全に興味を持つ生徒の参加も認めていただきました。環境に優しい技術などについては多少知っている生徒もいましたが、環境保全に取り組むための社会的な支援やシステムなど、専門的な内容を学び、社会に広げるための工夫を知ることができたのは貴重な機会で勉強になった様子でした。

4. 今後の課題と展望

動画の作成については現在も進行中です。

ビデオ教材ということで、講義のような形式で進めるものがいいのか、生徒に対して問い合わせ、考える場面や意見交換をする場面を設定した方がよいのかなど、動画作成に携わった生徒は積極的に議論を交わしていました。しかし、現在その方針がまだ具体化されていないため、今後はアスエコさんの指摘を受けながら、連携し動画のブラッシュアップを進めていきたいと思います。

また、動画の作成とは関係ありませんが、環境保全に興味を持つ生徒は多いものの、学校の中でそういった生徒にはたらきかける取り組みが少ないと感じました。この研修を通して、興味のある生徒が学ぶことができたので、今後は講演や研修などを学校で主催するなど、SDGs 向けた教育活動を行っていきたいとも感じました。